

3-3.鳥類調査中間報告

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

4.鳥類調査について

調査内容：平成27年度～令和3年度

対象	調査方法	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	
鳥類相全般	文献調査	既往文献	—	—	—	—	—		
	聞き取り調査	鳥類全般： 藤巻裕蔵氏 シマフクロウ： 早矢仕有子氏、 本田優子氏	懇談会実施						
	スポット センサス	—	現道沿い・約5.3km 3回(6・10・2月 各2日)	現道沿い・約5.3km 2回(4・5月 各2日)	—	—	計画路線沿い ・約4.4km 1回(6月 2日)		
特定種 (クマガラ・ 希少猛禽類)	定点調査 (終日調査)	—	現道沿い・3地点 2回(6・10月 各2日)	現道沿い・3地点 2回(4・5月 各2日)	現道沿い・3地点 4回(4・5・6・9月 各3日)	現道沿い・3地点 8回(4～11月 各1日)	現道沿い・3地点※1 8回(4～6・9月 各2日、 7・8・10・11月各1日)	現道沿い・3地点※1 8回(4～6・9月 各2日、 7・8・10・11月各1日)	
			H28・H29で1セット						
特定種 (シマフクロウ)	定点調査 (夜間調査)	—	現道沿い・4地点 3回(6・10・2月 各3日)	現道沿い・4地点 1回(6月 各3日)	—	—	—		
特定種 (シマフクロウ)	痕跡調査	—	水域沿い 2回(6・7月)	—	—	—	—		
特定種 (クマガラ・ 希少猛禽類・ シマフクロウ)	営巣木調査	—	計画路線沿い ・約4.4km 1回(11月)	—	—	計画路線沿い ・約4.4km 1回(11月)	—		
特定種 (クマタカ)	営巣木調査	—	—	—	—	—	St.3周辺 ・1回(11月)		
特定種 (タンチョウ)	タンチョウ 営巣調査	—	—	—	—	—	—	SP2500北側の湿地 ・1回(5月)	

※1: St.2・St.3では、調査中に補足調査地点(SP1880・SP2410)に移動し、午前中2時間程度の調査を実施

このページは、希少動物の生息及び生息環境が脅かされる可能性があるため、非公開としております。

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

調査結果一覧(令和3年度9月調査まで)

調査方法	調査日	調査結果(R3のみ)			備考*
		確認種数*	新出現種	重要種	
終日調査	4月21・25日 5月25・26日 6月17・18日 7月16日 8月19日 9月16・17日	5科9種 (27科66種)	ハチクマ(重要種), コノハズク, オオムシクイ(重要種), エゾビタキ	エゾライチョウ, オオジシギ, ハチクマ(新出現種), ハイタカ, オオタカ, クマタカ, オオアカゲラ, クマゲラ オオムシクイ(新出現種)	H28:7種 (51種) H29:9種 (64種) H30:9種 (64種) H31:7種 (57種) R2:9種 (64種)
タンチョウ 営巣調査	5月10日	1科1種 (1科1種)	<ul style="list-style-type: none"> ・成鳥1個体を確認(重要種) ・当該個体の就巣と補足調査(5/25)時に巣上の卵(2個)を目視確認。 ※就巣:巣の上にすわっていること		

*希少猛禽類及び重要種の種数。()は全確認種数。

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

全体調査結果(令和3年度9月調査まで)

- 本調査によって確認された鳥類は11目28科67種であった。
- 重要種としてエゾライチョウ, タンチョウ, オオジシギ, ハチクマ, ハイタカ, オオタカ, クマタカ, オオアカゲラ, クマゲラ, オオムシクイの6目6科10種を確認した。

表 鳥類調査による確認種(1/3)

No.	目名	科名	種名	学名	R3新規 確認種	重要種				渡りの型	生息環境
						文化財	種の 保存法	環境省 RL	北海道 RL		
1	キジ目	キジ科	エゾライチョウ	<i>Tetrastes bonasia</i>				DD	Nt	留鳥	森林
2	ハト目	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>						夏鳥	森林・人里
3			アオバト	<i>Treron sieboldii</i>						夏鳥	森林
4	ペリカン目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>						夏鳥	水辺
5	ツル目	ツル科	タンチョウ	<i>Grus japonensis</i>		特天	国内	VU	Vu	留鳥	水辺・草原
6	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>						夏鳥	森林
7			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>						夏鳥	森林
8			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>						夏鳥	森林・人里
9	アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>						夏鳥	森林
10			アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>						夏鳥	海域
11	チドリ目	シギ科	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>				NT	Nt	夏鳥	草原
12	タカ目	タカ科	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	●			NT	Nt	夏鳥	森林
13			トビ	<i>Milvus migrans</i>						留鳥	水辺・人里
14			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>				NT	Nt	夏(留)鳥	森林
15			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>				NT	Nt	留(夏)鳥	森林
16			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>						留鳥	森林
17			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>			国内	EN	En	留鳥	森林
18	フクロウ目	フクロウ科	コノハズク	<i>Otus sunia</i>	●					夏鳥	森林
19	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>						留鳥	森林
20			オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>					Dd	留鳥	森林
21			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>						留鳥	森林
22			クマゲラ	<i>Dryocopus martius</i>		国天		VU	Vu	留鳥	森林
23			ヤマゲラ	<i>Picus canus</i>						留鳥	森林
24	スズメ目	モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>						夏鳥	森林
25		カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>						留鳥	森林

※ : 重要種

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

表 鳥類調査による確認種(2/3)

No.	目名	科名	種名	学名	R3新規 確認種	重要種				渡りの型	生息環境
						文化財	種の 保存法	環境省 RL	北海道 RL		
26	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>						留鳥	人里
27			ハシトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>						留鳥	森林・人里
28		クイタダキ科	クイタダキ	<i>Regulus regulus</i>						留鳥	森林
29		シジュウカラ科	ハシトガラ	<i>Poecile palustris</i>						留鳥	森林
30			コガラ	<i>Poecile montanus</i>						留鳥	森林
31			ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>						留鳥	森林
32			ヒガラ	<i>Periparus ater</i>						留鳥	森林
33			シジュウカラ	<i>Parus minor</i>						留鳥	森林・人里
34		ツバメ科	イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>						夏鳥	森林・人里
35		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>						留鳥	森林・人里
36		ウグイス科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>						夏鳥	森林
37			ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>						夏鳥	森林
38		エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>						留鳥	森林
39		ムシクイ科	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>	●			DD	Lp ※	夏鳥	森林
40			エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>						夏鳥	森林
41			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>						夏鳥	森林
42		レンジャク科	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>						旅(冬)鳥	森林・人里
43		ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>						留鳥	森林
44		キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>						留鳥	森林
45		ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>						留鳥	森林
46		カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>						留鳥	水辺
47		ヒタキ科	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>						夏鳥	森林
48			トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>						夏鳥	森林
49			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>						夏鳥	森林
50			コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>						夏鳥	森林
51			コルリ	<i>Luscinia cyane</i>						夏鳥	森林
52			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>						夏鳥	森林
53			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	●					旅(夏)鳥	森林
54			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>						夏鳥	森林
55			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>						夏鳥	森林

※ : 重要種

※オオムシクイは北海道レッドリスト【鳥類編】2017において、道内の繁殖個体群が「絶滅のおそれのある地域個体群(Lp)」として指定されている。現時点で、道内で繁殖が知られているのは知床半島に限られ、十勝地方での繁殖の情報は得られてない。本調査でも本種の繁殖期にあたる6月以降の確認はないことから、通過個体の確認と推察される。

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

表 鳥類調査による確認種(3/3)

No.	目名	科名	種名	学名	R3新規 確認種	重要種				渡りの型	生息環境
						文化財	種の	環境省	北海道		
56	スズメ目	ヒタキ科	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>						夏鳥	森林
57		セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>						夏鳥	水辺
58			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>						夏(留)鳥	水辺・人里
59			ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>						夏鳥	森林・草原
60		アトリ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>						夏鳥	草原・森林・人里
61			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>						留鳥	森林
62			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>						夏鳥	森林・草原
63			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>						留鳥	森林
64			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>						夏(留)鳥	森林
65			イカル	<i>Eophona personata</i>						夏鳥	森林
66		ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>						夏鳥	草原
67			アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>						夏鳥	草原・森林・人里
合計	11目	28科	67種	確認種数	4種	2種	2種	9種	10種	-	-

※配列・学名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト[令和3年度版]」に準拠。

※ :重要種



令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

表 重要種確認状況(4~6月)

科名	種名	重要種選定基準※				繁殖を示唆する行動の確認	調査時期/調査地点															
		文化財	種の保存法	環境省 RL	北海道 RL		4月					5月					6月					
							St.1	St.2	St.3	SP 1860	SP 2410	St.1	St.2	St.3	SP 1860	SP 2410	営業調査	St.1	St.2	St.3	SP 1860	SP 2410
キジ科	エゾライチョウ			DD	Nt	さえずり	●	●		●	●											●
ツル科	タンチョウ	特天	国内	VU	Vu	抱卵																●
シギ科	オオジシギ			NT	Nt	ディスプレイフライト																●
タカ科	ハチクマ			NT	Nt	ディスプレイフライト																●
	ハイタカ			NT	Nt	-		●														
	オオタカ			NT	Nt	-					●											
	クマタカ		国内	EN	En	-																
キツツキ科	オオアカゲラ				Dd	-			●													●
	クマガラ	国天		VU	Vu	テリトリーコール	●	●	●						●						●	●
ムシクイ科	オオムシクイ			DD	Lp	さえずり									●							
6科	10種	2種	2種	9種	10種		2種	3種	2種	1種	1種	2種	2種	3種	1種	1種	1種	2種	2種	1種	1種	1種

表 重要種確認状況(7~9月)

科名	種名	重要種選定基準※				繁殖を示唆する行動の確認	調査時期/調査地点															
		文化財	種の保存法	環境省 RL	北海道 RL		7月					8月					9月					
							St.1	St.2	St.3	SP 1860	SP 2410	St.1	St.2	St.3	SP 1860	SP 2410	St.1	St.2	St.3	SP 1860	SP 2410	
キジ科	エゾライチョウ			DD	Nt	さえずり	●															
ツル科	タンチョウ	特天	国内	VU	Vu	抱卵																
シギ科	オオジシギ			NT	Nt	ディスプレイフライト																
タカ科	ハチクマ			NT	Nt	ディスプレイフライト																
	ハイタカ			NT	Nt	-																●
	オオタカ			NT	Nt	-																●
	クマタカ		国内	EN	En	-																●
キツツキ科	オオアカゲラ				Dd	-																●
	クマガラ	国天		VU	Vu	テリトリーコール		●	●												●	●
ムシクイ科	オオムシクイ			DD	Lp	さえずり																
6科	10種	2種	2種	9種	10種		1種	1種	1種	0種	0種	1種	1種	1種	0種	0種	3種	4種	4種	1種	1種	

※重要種の選定基準

- 文化財:「文化財保護法」およびこれに基づく条例で指定された天然記念物
特天: 国指定の特別天然記念物、国天: 国指定の天然記念物
- 種の保存法:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
国内: 国内希少野生動植物
- 環境省RL:「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月27日、環境省)
EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足
- 北海道RL:「北海道レッドリスト【鳥類編】2017」(平成29年4月7日、北海道)
En: 絶滅危惧種、Vu: 絶滅危惧種、Nt: 準絶滅危惧、Dd: 情報不足、Lp: 地域個体群

※赤字: 新出現種

このページは、希少動物の生息及び生息環境が脅かされる可能性があるため、非公開としております。

このページは、希少動物の生息及び生息環境が脅かされる可能性があるため、非公開としております。

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

タンチョウ営巣調査結果(調査日:令和3年5月10日)

- 5月10日の調査で就巣を確認
- 5~9月の終日調査時の補足調査結果から、繁殖成否は不明と判断

区分	調査日	確認個体数	調査結果概要
営巣調査	5月10日	成鳥1個体	・成鳥1個体の就巣を確認 ※就巣:巣の上にすわっていること
補足調査 (終日調査時)	5月25・26日	成鳥2個体	・巣の上に卵を2つ確認(5/25) ・成鳥1個体の就巣を確認 ⇒抱卵行動継続と推察(5/26)
	6月17・18日	成鳥1個体	・成鳥1個体の採餌を確認 ※幼鳥の確認なし
	7月16日	成鳥1個体	・成鳥1個体の採餌を確認 ※幼鳥の確認なし
	8月19日	なし	・成鳥、幼鳥とも個体確認なし
	9月17日	なし	・成鳥、幼鳥とも個体確認なし

⇒6月以降、成鳥1個体のみの確認であるが、確認できなかった番(つがい)相手の成鳥が幼鳥を伴って行動していた可能性もあり、繁殖成否は不明

このページは、希少動物の生息及び生息環境が脅かされる可能性があるため、非公開としております。

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

今後の予定

➤ 終日調査:11月(1日)

調査年度	調査方法	延べ日数		確認種数		クマゲラ確認例数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
R3	終日	12日	13日	(H28~R2 総確認種数 86種)				2日	2日	2日	1日	1日	2日	1日	1日							
	夕チヨウ 営巣	1日							1日													
R2	終日	12日	16日	64種	66種	36例	44例	2日	2日	2日	1日	1日	2日	1日	1日							
	スポットセ ンサス	2日		44種		5例		2日	※クマゲラのヒナの声が聞こえる6月の上旬及び中旬(計2回)に、計画 路線沿いのスポットセンサスをしながらクマゲラの繁殖確認に努める													
	営巣木	2日		5種		3例												2日				
H31 (R1)	終日	8日	10日	57種	57種	18例	19例	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日							
	営巣木	2日		4種		1例											2日					
H30	終日	12日		64種		45例		3日	3日	3日			3日									
H29	終日	4日	37日	58種	76種 夜間などその 他調査含む	14例	36例	2日	2日													
	スポットセ ンサス	4日		44種		4例		2日	2日													
	夜間	3日		24種		0例				3日												
H28	終日	4日	37日	51種	76種 夜間などその 他調査含む	9例	36例			2日				2日								
	スポットセ ンサス	6日		47種		4例			2日							2日				2日		
	夜間	9日		31種		2例			3日							3日				3日		
	痕跡(シマ フクロウ)	5日		0種		0例			3日		2日											
	営巣木	2日		4種		3例												2日				